

# 商 団 連

## 第343号

平成29年7月1日

1部 50円

発行所

全国卸商業団地協同組合連合会

東京都港区虎ノ門1-8-10

セイコー虎ノ門ビル2階(〒105-0001)

電話 03-3591-1251(代表)

編集発行人 平澤和人

### 第50回通常総会

# 例年通りホテルニューオータニで開催



中小企業庁長官 宮本 聡氏



商団連会長 福井 弘氏



商工中金副社長 稲垣光隆氏



中小機構理事長 高田坦史氏

商団連の平成29年度通常総会(第50回)が、さる6月21日(水)東京・紀尾井町のホテルニューオータニ「舞の間」において開催された。総会は、午後1時30分より開催され、司会者より会員10名(本人出席65名、委任状出席36名)の出席により、総会成立のための定数である会員数の過半数を超えているため、本総会は有効に成立した旨宣せられ開会した。

はじめに福井会長より「商団連は昭和42年8月に設立され今年で50周年を迎えます。今後も引き続き会員の皆様との「絆」を一層強め、緊密な連携と情報交換・情報発信を大切にし、卸商業団地の更なる発展、さらには会員企業の成長へ向けての経営基盤の強化、経営力の強化のためにその役割を果たして参りたい」と開会の挨拶が行われた。引き続きご臨席いただいた来賓の方々より挨拶が行われた。

中小企業庁宮本聡長官は「商団連の会員及び組合員の皆様には、人口減少、少子高齢化が進む中で難しい局面ではあるが、今後とも卸商業団地がその機能を強化し、地域の流通、経済の核としてその役割を果たしていただきたい。本年が一層の飛躍の年になるよう

株式会社商工組合中央金庫稲垣光隆代表取締役副社長は、「皆様方のご相談に對しては、親切丁寧かつ迅速な対応に努めると共に、セーフティネット機能を發揮し、組合支援を通じた地域活性化等の大事な課題に積極的に取組み、地域の発展に貢献して参りたい」と挨拶された。

来賓の挨拶の後、福井会長を議長に選出し、議案審議に入った。

第1号議案 平成28年度事業報告・財産目録・貸借対照表・損益計算書並びに剰余金処分(案)について承認を求める件。

栗原専務理事より原案の説明が行われたのち、桑原功監事(協秋田卸センター名管理事)より、平成28年度決算関係書類及び業務について監査した結果、財産

管理・収支の処理・予算の執行・業務についていずれも妥当と認められる旨報告があり、審議の結果、全員異議なく原案どおり承認された。

第2号議案 平成29年度事業計画(案)について承認を求める件

第3号議案 平成29年度経費の賦課金徴収(案)について承認を求める件

第4号議案 役員報酬決定の件

第5号議案 借入金残高の最高限度額の承認を求めるとの件

上記4議案が一括上程され、栗原専務理事がそれぞれの内容を説明し、審議した結果、いずれも原案どおり承認された。

第6号議案 商団連創立50周年記念事業について承認を求める件。

栗原専務理事より、商団連創立50周年記念式典を開催するに当たり、特別賦課金1口(30,000円)以上を徴収する旨の説明があり、審議の結果、全員異議なく原案どおり承認された。

第7号議案 事務所移転について承認を求める件。

栗原専務理事より、現在の「港区虎ノ門」から「港区赤坂」(全国卸商業団地企業年金基金が入居しているビル)に平成30年2月を目途に事務所を移転する旨の説明があり、審議の結果、全員異議なく原案どおり承認された。

以上で議案審議は終了した。

その後、平成28年度商団連グループ保険の加入促進運動において福祉共済事業の発展に大きく貢献された(協)仙台卸センター、(協)金

沢間屋センター、鹿見島総合卸商業団地(協)に感謝状の贈呈が行われ第50回通常総会は終了した。

通常総会終了後、午後3時より、東洋大学大学院経営学部教授である菊池宏之氏による講演会が行われた。演題は「転換を求められる卸売経営と卸商業団地の発展を考える」でした。

菊池教授は、商団連が二ヶ年事業で取り組んできた「卸商業団地の課題解決策と活性化のための調査研究事業」の委員長であり、この調査研究事業のポイントの説明が行われ、その後、流通産業を取り巻く環境変化、卸売生き残りの課題等について説明が行われた。

### 講演会

講師 菊池 宏之氏  
演題 「転換を求められる卸売経営と卸商業団地の発展を考える」

### 懇親会

講演会終了後、会場を「翔の間」に移し、懇親パーティーが行われた。

福井会長の開宴挨拶の後、全国卸商業団地対策議員懇話会の会長で、衆議院議員・自由民主党総務会長である細田博之先生、中小企業庁次長の吉野恭司氏よりご挨拶をいただいた。全国中小企業団体中央会専務理事の高橋晴樹氏に乾杯のご発声





全国中央会 専務理事 高橋晴樹氏



中小企業庁次長 吉野恭司氏



講師 菊池宏之氏

▽中小企業基盤整備機構  
小淵良男(理事)、森田博行(高度化事業部長)、河井 豊(高度化事業部参事)、沢田太志(高度化事業推進課長)

佐藤 勉(関東本部長)  
▽全国中小企業団体中央会  
高橋晴樹(専務理事)  
▽住友生命 荒木登志松(執行役常務)

▽東洋大学 菊池宏之(教授)  
▽弁護士 栗林武史  
▽全国卸商業団地企業年金基金 熊田俊彦(常務理事)

衆議院議員(代理)  
鈴木俊一、佐田玄一郎、堀内詔子、上川陽子、江崎鐵磨、田村憲久、谷 公一、石破 茂、赤澤亮正、塩崎恭久、井上貴博、鬼木 誠、参議院議員(本人出席) 中曾根弘文、太田房江、舞立昇治、宮沢洋一、参議院議員(代理) 山本一太、石井正弘

▽中小企業庁 吉野恭司(次長)、高島竜祐(経営支援部長)、藪内雅彦(商業課長)

星 彰(商業課長補佐)、真壁 純(商業課係長)

をお願いした。和やかな歓談の後、商団連の田中善一副会長(協仙台卸商センター理事長)に締めをいただいた。当日の主な来賓は次のとおりです。(敬称略)

▽全国卸商業団地対策議員懇話会(名簿順)  
衆議院議員(本人出席) 津島 淳、田所嘉徳、小淵優子、神山佐市、黄川田仁志、牧島かれん、原田憲治、盛山正仁、細田博之、逢沢一郎、小島敏文、小林史明、金子万寿夫

# 組合代表者、事務局担当者の変更

会員組合の平成29年度通常総会が終了し、理事長及び事務局に一部変更がありました。  
変更は左記の通りです。(平成29年6月30日現在)

### (理事長の交代)

組 合 名	前理事長	新理事長	会社名
協秋田卸センター	桑 原 功	辻 昭 久	(株)辻原
協山形流通団地	三 浦 修	坂 部 登	坂部印刷(株)
会津若松卸商団地(協)	山 口 豪 志	山 本 真 一	山本商事(株)
協川崎卸センター	武 井 泰 士	宮 代 久 悦	(株)宮代商店
協富山問屋センター	黒 田 昭	長 沼 克 博	富山石油(株)
協松江流通センター	藤 原 秀 博	伊 原 正 人	日新化成(株)
協岡山機工センター	前 嶋 伸 昭	岡 崎 世 作	双葉電機(株)
協徳島繊維卸団地	多 田 孝 啓	林 基 志	徳島トンボ(株)
協延岡卸商業センター	飯 干 喬 啓	永 友 隆	(株)三井
協唐津総合卸センター	東 島 吉 隆	梅 田 一 成	梅田産業(株)

### (事務局の交代)

組 合 名	前担当者	新担当者
協山形流通団地	尾形 孝一 専務理事	長澤 進 常務理事
協横浜マーチャングライジングセンター	手塚 茂男 専務理事	中島 誠 事務局長
上田卸商業(協)	金井 清一 事務局長	松本 良治 事務局長
大阪船場繊維卸商団地(協)	工藤 寛士 専務理事	八木 斉 専務理事
協神戸船用品センター	村山 純之助 事務局長	谷田 憲美 専務理事兼事務局長
協三次総合卸センター	丸子 由美子 事務長	田中 克典 事務長
協延岡卸商業センター	酒井 修平 事務局長	尾前 光三郎 事務局長
有田焼卸団地(協)	田代 章次郎 専務理事	原口 秀夫 専務理事

### (役職の変更)

組 合 名	担当者	新役職
協盛岡卸センター	村 松 孝 夫	専務理事
協津卸商業センター	稲 森 三 也	専務理事
協金沢問屋センター	泉 康 次	常務理事
大阪メルカート(協)	成 瀬 正	専務理事

(注) 当連合会が確認できた分だけを掲載しています。

# 平成28年度第2回事務局長会 メルパルク東京で開催

平成28年度第2回事務局長会が3月3日(金)、東京都港区のメルパルク東京において開催された。当日は、北は北海道、南

は九州の全国から63団地65名とご来賓合わせて82名が出席した。

はじめに東日本大震災から6年が経過し、また、昨

年は4月に熊本地震が発生し大きな被害があったため、犠牲者へのご冥福をお祈りするために黙とうを捧げた後、会議に入った。

葛永代表世話人(協ヘイタウン尾道)の挨拶後、今回初めて出席される方を紹介し、全員協議会が行われた。全員協議会の審議内容

は、平成28年度事業及び収支中間報告、平成29年度事業計画案並びに収支予算案、平成29年度会費徴収案が審議されいづれも原案どおり承認された。

全員協議会終了後、来賓紹介に続き、中小企業庁経営支援部商業課星課長補佐より中小企業・小規模事業者の現状と施策等について、株式会社商工組合中央金庫審査第二部長森上席審査役

より地域活性化支援の取組事例について、住友生命全国共済推進室牧田部長より商団連グループ保険の加入促進について、中小企業庁事業環境部財務課影山課長補佐より平成29年度税制改正の概要、消費税軽減税率対策について資料を基に説明が行われた。

昼食後、平成27年より2年間に渡って商団連が実施した調査研究事業の委員長





事務局長会

であった東洋大学大学院教授の菊池宏之氏より事業概要の説明が行われた。

その後独立行政法人中小企業基盤整備機構の高度化担当理事である小淵良男氏をお迎えして、中小機構の最近の動向と中小企業支援策、高度化事業について意見交換が行われた。

全国中小企業団体中央会振興部丸山部長より中小企業活路開拓調査・実現化事業について説明があり、その後各団地の取り組み事例として4団地より説明が行われた。

① 協盛岡卸センター

村松 孝夫 事務局長

物流センターの整理ついて

高度化資金を活用した物流センターの一括売却が実現。高度化資金の繰上償還と連帯保証人の解除

が実現した。

② 協新大阪センシティブ

松村 敦司 専務理事

ネット販売事業の取り組みについて

平成27年11月に自社サイトを開設したが、利用が低迷している。しかし、小売業のノウハウ蓄積や組合員自社サイトの現状把握及び改善の方向性の認識、安価なコストでの売り場拡大等の効果があった。

③ 協広島総合卸センター

松崎 泰雄 常務理事

活性化計画について

組合員施設の老朽化に伴う建替え需要に対応できるように組合が共同事務所・倉庫を新設し円滑な建替え支援を実施、高度化資金の活用もサポートしている。

④ 協熊谷流通センター

及川 亨 専務理事

まちづくりについて

平成29年1月に市街化に編入され、団地に隣接して新駅も設置されることから地域全体が大きく変わる可能性があり、将来を見据え組合を中心とした「安心・安全」なまちを実現する。

当日の主な来賓出席者は、次のとおり(敬省略)

# 平成29年度 賀詞交歓会開催

平成29年1月25日(水)、東京都港区芝公園のメルパルク東京において新年賀詞交歓会が開催された。

会員37団地51名、卸商業団地対策議員懇話会の先生方、関係諸機関の幹部の方々が多数出席され盛大に行われた。

はじめに会長の福井弘氏より年頭の挨拶が行われた。

会長は、「商団連のシンボルマークである幸せを呼ぶ四つ葉のクローバーの理念で「流通業界の核」となるという原点に返ると共に協同組合の基本理念である互助自助の責任と義務の確認を改めて正し、時代のニーズに応え、会員のための情報交換・課題解決のよろず相談がしっかりと出来る連合

会として、会員の皆様との「絆」を一層強め、緊密な連携のもと、卸商業団地の更なる発展、さらには会員企業の経営基盤の強化のためにその役割を果たして参りたい」と挨拶された。

つづいて全国卸商業団地対策議員懇話会の会長である衆議院議員の細田博之先生より「この21世紀を生き抜

いていくような知恵を出していかなければならない。そのための試みをしている商団連に対して心から敬意を表します。」とのご挨拶をいただいた。

引き続き中小企業庁長官宮本聡様より「不透明感を感じる時だからこそ中小企業の経営者の方には是非経済環境に左右されないよう

な確固とした経営力を培って頂きたい。こういう時だからこそできるビジネスチャンスに果敢に挑戦して頂きたい。」とご挨拶された。

商工組合中央金庫代表取締役社長長安達健祐様より「我が国経済発展のために地域の活性化が必要であり、そのためには地域に根差す卸商業団地の皆様の成長が不可欠である。貴連合会並びに会員の皆様と一層の連携を深めていきたい。」とご挨拶された。

その後、独立行政法人中小企業基盤整備機構理事小淵良男様より「卸売業を取り巻く環境は益々厳しくなると思われる。このような構造変化をむしろチャンスと捉え、会員組合、組合員企業一丸となって難局を乗り越えることを強く期待するものである。」とのご挨拶のあと、小淵理事の発声により乾杯が行われ、参加者一同和やかに歓談が行われた。

当日の主な来賓出席者は、

- 次のとおり(敬省略)
- 〔中小企業庁〕
- 宮本 聡 (長官)
  - 木村 陽一 (次長)
  - 吉野 恭司 (事業環境部長)
  - 高島 竜祐 (経営支援部長)
  - 川村 尚永 (事業環境部企画課長)
  - 篠内 雅彦 (経営支援部事業課長)
  - 星 彰 (経営支援部事業課長補佐)
- 〔独立行政法人中小企業基盤整備機構〕
- 小淵 良男 (理事)
  - 森田 博行 (高度化事業部長)
  - 内山 崇 (高度化事業部審議役)
  - 河井 豊 (高度化事業部参事)
  - 沢田 太志 (高度化事業部高度化推進課長)
  - 佐藤 勉 (関東本部長)
- 〔株式会社商工組合中央金庫〕
- 安達 健祐 (代表取締役社長)
  - 稲垣 光隆 (代表取締役副社長)
- 〔全国卸商業団地厚生年金基金〕
- 橋高 克和 (理事長)
- 〔住友生命保険相互会社〕
- 荒木 登志松 (執行役常務)
- 〔全国卸商業団地対策議員懇話会 (名簿順)〕
- 津島 淳、小淵 優子、神山 佐市、堀内 詔子、盛山 正仁、細田 博之、小島 敏文、鬼木 誠
  - 衆議院議員(代理)
  - 鈴木 俊一、亀岡 偉民、田所 嘉徳、福田 達夫、佐田 玄一郎、村井 英樹、黄川田 仁志、牧島 かれん、松本 純、上川 陽子、江崎 鐵磨、田村 憲久、原田 憲治、石破 茂、赤澤 亮正、小林 史明、岸田 文雄、塩崎 恭久、井上 貴博
  - 参議院議員(本人)
  - 太田 房江、宮沢 洋一
  - 参議院議員(代理)
  - 中曾根 弘文、山本 太一、舞立 昇治、石井 正弘、松川 るい
- 〔丸山 博志(振興部長)〕
- 〔株式会社商工組合中央金庫〕
- 萩森 宅治(本店審査第二部 席審査役)
  - 〔東洋大学〕
  - 菊池 宏之(経営学部教授)
  - 〔住友生命保険相互会社〕
  - 牧田 篤(全国共済推進室 席外部部長)



商団連会長 福井 弘氏



衆議院議員 細田博之氏



中小機構理事 小淵良男氏

〔全国卸商業団地対策議員懇話会 (名簿順)〕

- 津島 淳、小淵 優子、神山 佐市、堀内 詔子、盛山 正仁、細田 博之、小島 敏文、鬼木 誠
- 衆議院議員(代理)
- 鈴木 俊一、亀岡 偉民、田所 嘉徳、福田 達夫、佐田 玄一郎、村井 英樹、黄川田 仁志、牧島 かれん、松本 純、上川 陽子、江崎 鐵磨、田村 憲久、原田 憲治、石破 茂、赤澤 亮正、小林 史明、岸田 文雄、塩崎 恭久、井上 貴博
- 参議院議員(本人)
- 太田 房江、宮沢 洋一
- 参議院議員(代理)
- 中曾根 弘文、山本 太一、舞立 昇治、石井 正弘、松川 るい



## 商団連事務局からのお知らせ

### 「平成29年度第1回事務局長会」

開催日時：平成29年9月7日（木）～8日（金）  
 開催場所：メルパルク大阪  
 大阪市淀川区宮原4-2-1  
 電話：06-6350-2111  
 幹事団地：大阪船場繊維卸商団地（協）  
 （協）新大阪センイシティー  
 視 察：造幣局 ⇒ なにわクルーズ ⇒ 通天閣  
 ゴ ル フ：アートレークゴルフ倶楽部

### 「商団連創立50周年記念式典」

平成29年11月21日（火） 開催場所：ホテルニューオータニ  
 記念式典・講演会：「悠の間」 13:00～16:30  
 祝賀会：「麗の間」 16:40～18:00

### 「平成29年度ブロック会議」

日付	ブロック	幹事団地
H29. 8. 24（木）～25（金）	中部ブロック	（協）津卸商業センター
H29. 9. 14（木）～15（金）	北海道ブロック	（協）石狩新港卸センター
H29. 9. 28（木）	近畿ブロック	（協）大阪紙文具流通センター
H29. 10. 19（木）～20（金）	中・四国ブロック	下関問屋センター（協）
H29. 11. 28（火）～29（水）	関東ブロック	（協）山梨県流通センター
H29. 12. 8（金）	東北ブロック	（協）八戸総合卸センター
H29. 12. 15（金）～16（土）	九州ブロック	（協）長崎卸センター

## 「商団連グループ保険」の加入促進強調月間のお知らせ

商団連は今年創立50周年を迎えますが、「商団連グループ保険」の更なる普及を図るために、7月から12月にかけて全会員を対象とした加入促進のための強調月間を設けることとしております。

尚、加入に当たり「加入促進手数料」を設けておりますが、今年度に限り下記の通り増額いたします。

新規加入1社につき	（現内容）	⇒	（今年度）
5人以下加入の場合	10,000円		20,000円
6人～10人加入の場合	15,000円		30,000円
11人以上加入の場合	20,000円		40,000円

会員各位におかれましては、本趣旨をご理解いただき、組合事務局並びに組合員について、未加入事業所の新規加入、既加入事業所の従業員の追加加入、既加入者の保険金額の増額等ご協力下さいますようお願い申し上げます。

### 「福利厚生制度実態調査」ご協力のお願い

商団連グループ保険の加入促進キャンペーンの一環として、組合員の皆様がどのような福利厚生制度を導入されているかお聞きし、商団連グループ保険の有用性をご理解いただく目的で「福利厚生制度実態調査」アンケートを実施します。

趣旨をご理解の上、ご協力下さいますようお願い申し上げます。

### 商団連グループ保険（会社掛）のご案内



職員や従業員の万が一の時に備えたいが・・・

しかし、あまり費用がかけられない・・・

そんなお悩みの事業者のみなさんへ商団連グループ保険がぴったりです。



手厚い保障

病気死亡・高度障害、不慮の事故による死亡・高度障害  
不慮の事故による障害・入院まで幅広く保障

加入資格

組合職員並びに会員組合員企業の役員・従業員の方々が健康な方であれば、告知のみで申込みできます。医師の診査も必要ありません。

手頃な掛金

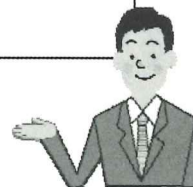
例）40歳男性が保険金額100万円にご加入の場合  
ひと月の掛金は282円

掛金の扱い

掛金は、会社負担となり福利厚生費として全額損金に算入できます。

※他にも商団連独自の見舞金制度もあります。

ご加入年齢	病気死亡・高度障害保険金
15歳～70歳	100万円～1,000万円



パンフレット、お問い合わせは、各組合事務局または商団連事務局（03-3591-1251）までお問い合わせ下さい。

全国卸商業団地協同組合連合会（商団連）  
 〒105-0001 東京都港区虎ノ門1-8-10 セイコー虎ノ門ビル2階  
 TEL 03-3591-1251 FAX 03-3591-1253

受託幹事会社 住友生命保険相互会社



# 商団連会員サポートセンター 法律顧問の設置

商団連では、会員組合の組合運営をサポートするために平成28年8月より「商団連会員サポートセンター」を設置しておりますが、法律問題を支援するために今年の4月より法律顧問を設けております。



## 顧問弁護士 栗林 武史氏のご紹介

第二東京弁護士会所属  
1974年(昭和49年)生、中央大学法学部卒  
遠藤・金崎法律事務所  
〒105-0003  
東京都港区西新橋1-19-6 桔梗備前ビル2階  
TEL : 03-3595-2921

### ひとこと

弁護士はサービス業です。私は、お客様のために、迅速かつ丁寧に、ハートのこもったサービスを提供するよう心がけています。お気軽にお声をかけて頂ければと思います。

## 全国卸商業団地厚生年金基金 清算業務の進捗状況のご報告

平成28年3月1日付で厚生労働省から解散の認可を受け、平成30年2月清算終了を目指し清算業務を進めております。

### 1. 直近の清算状況について

- ①平成29年3月16日に企業年金連合会から、国の記録と基金の記録が一致した旨の連絡がありました。
- ②これにより、国に返還する最低責任準備金の額が確定いたしました(なお、平成27年7月に最低責任準備金の99.6%を前納済です)。
- ③現在、厚生労働省で離婚による夫婦間の年金額の調整を行っています。

### 2. 今後の清算状況(予定)について

- ①(平成29年7月)離婚による年金額の調整終了後、清算人会を開催し清算終了までの債権・債務を確定いたします。
- ②(平成29年8月)関東信越厚生局の監査を受け、厚生労働省に財産目録の申請及び認可を受けます。
- ③(平成29年9月~10月)厚生労働省の認可後、代行部分の納付、後継制度未加入者への「分配」と後継制度への「追加交付」を行います。
- ④(平成29年11月~12月)後継制度未加入事業所の他制度への移換手続きを行います。
- ⑤(平成30年1月~2月)厚生労働省へ最終報告並びに提出する書類等の整理後、清算終了(最終的には官報に掲載)に向かいます。

お問い合わせ 全国卸商業団地厚生年金基金 TEL 03-3560-3050 FAX 03-3560-3054  
〒107-8419 東京都港区赤坂5-1-31 第6セイコービル4階

起業したいが方法がわからない。  
製造ラインや社内体制を改善したい。  
新しく事業を始めたい。  
海外進出の相談に乗ってほしい。  
販路開拓のいいアドバイスが欲しい。  
会社を継いでくれる人がいない。  
大した資金が欲しい。  
後継者や幹部をどう育てたらいいの?  
経営戦略を専門家に相談したい。  
売り上げを伸ばすために何をすれば?  
資金繰りに困っている。  
社長を引退した際、安心が欲しい。  
381万の悩みに応える。  
中小機構は、全国の中小企業をサポートする国の支援機関です。



# 全国卸商業団地企業年金基金

## 平成28年度収支状況のご報告

平成28年度決算(平成28年3月1日~平成29年2月28日の年金経理収支状況)

収 入 (単位:百万円)	支 出 (単位:百万円)		
掛金収入	1,108	老齢給付費	357
厚年基金からの受換金等	300	脱退一時金	113
運用収益	7	遺族給付費	15
業務会計からの受入金	30	業務委託費等	30
責任準備金減少額	416		
		当年度剰余金	1,346
合 計	1,861	合 計	1,861

平成28年度は、13億円の当年度剰余金を計上いたしました。

なお、決算は平成29年6月20日開催の第3回代議員会で承認されました。

また、各組合員企業には、8月発送予定の基金だよりでお知らせいたします。

## 新規加入を随時受付しています

全国卸商業団地企業年金基金は、全国卸商業団地厚生年金基金の後継制度として、平成28年3月1日に設立いたしました。

各卸団地組合の組合員企業などで、当基金に加入していない企業の新規加入について、随時ご相談を受付けております。

また、他の厚生年金基金の解散に伴う残余財産分配金を持ち込むことも可能です。

ぜひ、加入のご検討をお願いいたします。

なお、組合員企業が新規加入した場合、商団連および所属卸団地組合に当基金から協力費(各卸団地最高20万円)を支給いたします。

お問合せ 全国卸商業団地企業年金基金 TEL 03-3560-7017 FAX 03-3560-3054  
〒107-0052 東京都港区赤坂5-1-31 第6セイコービル4階

## 住友生命からのお知らせ

### 各種セミナー(講師料無料)のご案内 (商団連協賛 講師は住友生命より派遣)

従業員の皆さまの豊かなライフプランづくりをお手伝いします。知識だけでなく、働き甲斐・生き甲斐に資するセミナーです。

#### ①入社5年目以内・若者向けライフプランセミナー

社会保険の仕組み、これから起こるライフイベントとその備え (時間目安 1~2時間)

#### ②50代前半向けセカンドライフセミナー

定年後のマネープランと生き甲斐づくり (時間目安 2~5時間)

#### ③経営者さま向け相続対策セミナー

相続税の仕組みと今から出来る具体的な軽減対策 (時間目安 1~2時間)

お申し込み・お問い合わせは、商団連事務局(担当:吉澤 電話03-3591-1251)もしくは、住友生命(担当:牧田 電話03-5550-4057)あて、「商団連新聞のセミナー広告の件で」とお申し付けください。

## 住友生命ではCSR(社会貢献活動)に取り組んでいます

### 創業110周年記念社会貢献事業「スミセイバイタリティアクション」

住友生命はおかげさまで平成29年度に創業110周年を迎えました。

そこで長年の感謝の気持ちを込めまして、健康増進をテーマとした新たな社会貢献事業として「スミセイバイタリティアクション」を開始します。

「たいせつな人とカラダ動かそう」をテーマに全国110箇所でのトップアスリートによるスポーツイベント等を実施します。また、啓発冊子等の作成・配布等により健康に関する理解促進も図ります。詳しくは特設ページをご覧ください。

(<http://www.sumitomolife.co.jp/sva/> または [スミセイバイタリティアクション](#) 検索)

### 24時間テレビ「愛は地球を救う」協賛

住友生命は平成18年より24時間テレビ「愛は地球を救う」に協賛しており、今年で12年目となります。毎年、全国の支社店頭に募金箱を設置し募金を募るほか、番組放映日には全国約150箇所で開催活動が行われ、過去11年間の募金総額は124,965,782円となっております。



親子スポーツイベントの様子



広島設置ブース